

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ（就労支援サービスを含む） Support for the Challenged Person and Support System for Independence of the Challenged PersonⅠ (including supporting services for employment)		1年	前期	別途、時間割参照	
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限	
2単位	講義	選択	（社会福祉士国家試験受験資格取得必修）	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目					
社会福祉士受験資格指定科目					
同時に履修しておくことが望まれる科目					
社会福祉士受験資格指定科目					
担当者に関する情報					
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
井上美和		非常勤講師室	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要					
障害者福祉制度を歴史的に概観し、現在の障害者福祉の理念について学ぶ。また障害の概念や定義をふまえた上で、障害者総合支援法の概要から障害児者施策・制度、サービス体系について学習する。さらに障害ごとに異なる施策について学びを深める。					
授業の目標					
①障害者の生活の実態に即して障害の概念や定義、理念を理解し、説明できるようにする。 ②障害者総合支援法の概要について知識を深め、説明できるようにする。 ③身体障害分野の制度システムを理解し、説明できるようにする。					
授業の方法					
障害の基礎知識や施策・制度、サービス体系等について、テキストや視聴覚教材を用いて講義形式で学ぶ。またグループ学習等、ディスカッションの時間を設けることにより、当事者性に立ったサービス体系の検討を試みる。					
学習の成果（学習成果）					
当該授業を履修すると ①障害の概念や定義、理念をもとに、障害者の視点からそれらの意義を考察することができる。 ②障害種別に関わらない障害児者施策・制度、サービス体系について理解し、その課題に対して考察を深めることができる。 ③障害ごとに異なる施策・制度について理解し、その課題に対して考察を深めることができる。					
授業のスケジュールと内容					
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、成績評価について等の説明）				
第2回目	障害のある人とは？				
第3回目	障害の概念				
第4回目	障害者福祉の基本理念				
第5回目	身体障害の理解① 視覚障害・聴覚障害とは 身体障害者福祉法				
第6回目	身体障害の理解② 視覚障害・聴覚障害とは 身体障害者福祉法				

第7回目	身体障害の理解③ 視聴覚教材使用「風の歌が聴きたい」	
第8回目	身体障害の理解④ 肢体不自由とは 視聴覚教材使用「生きることを選んで」	
第9回目	障害者総合支援法の理解① グループ学習	
第10回目	障害者総合支援法の理解② グループ学習	
第11回目	障害者総合支援法の理解③ グループ学習・発表	
第12回目	障害者総合支援法の理解④ グループ学習のまとめ	
第13回目	試験	
第14回目	身体障害をもつ人の生活① 視聴覚教材使用「障害者イズム」	
第15回目	身体障害をもつ人の生活② 視聴覚教材使用「障害者イズム」	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	①テキスト、配布資料を毎時間持参しているか、②ディスカッションで積極的に発言しているか、③集中してノートをとっているか、を評価基準とする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	授業内容を理解しているか、また当該科目の目標をどの程度達成できているかによって評価する。試験内容は、選択穴埋問題と論述問題とする。
発表内容（態度含む）	20%	①積極的にグループ学習に参加したか、②積極的に発表に臨んだか、②問題意識を持ち、それに対する考察を深めることができたか、を評価基準とする。
その他		
教科書と参考図書		
社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 第4版』中央法規		
履修上の留意点・ルール		
日頃から障害に関する情報に興味、関心をもって、積極的な態度で授業に臨んで下さい。教科書は必ず毎時間持参して下さい。		